



ふっと振り返るとき(1年後)

情報科 山口 偉史

平成26年3月号に続き、平成27年3月号の表紙も私の文章が掲載されることになりました。この1年間もいろいろな出来事があったな…と、やっぱり感じてしまいます。

私は普段からデジカメを持ち歩いており、行事のときはもちろん、校内で何かあるたびに写真を撮り、編集して志成館のWebページに載せたり、『SHISEIKAN!』通信に掲載したりしてきました。特に、高等学院3年生のみなさんへはしばらくして卒業文集が手元に届くかと思いますが、文集には3年生のみなさんの写真をたくさん掲載しています。

2月7日(土)に行われた卒業式にて、開式の前にこれまで撮り貯めた“3年生写真セレクション”をスライド形式で上映しました。当日、来場して頂いた保護者の皆様や来賓の方々だけでなく、3年生のみなさんもスライドをじっと写真を見る様子が印象的でした。

3年前って、どんなことを考えていましたか？

「いっぱい行動して、いっぱい経験してほしい」

やはりこの言葉は、昨年に続いて今年も皆さんへ送ります。私自身、高校の卒業時点では学校の行事以外では九州から出たことが無かったのですが、今ではおおよそ3ヶ月に1回は九州外へ出かけるようになりました。自分が住む場所を離れて違う文化・場所に触れてみると、今まで自分が“常識”と思っていたことが覆される…といったことはよくあります。福岡市から熊本市に引越したとき、最初は「あとぜき」「さしより」の意味が分からなかったことも、今では懐かしいです。

自分はこの1年間の中ではどんな行動をして、どんなことを考えたか、学べたか、そして行動の結果をこれからどう生かそうか、考えることがあります。平成26年度の私は月曜日から木曜日まで毎日50分授業を4～7コマ、そして金曜日は八代校で終日勤務し、限られた時間で校務やら授業準備やらどのようにこなそうかと、常に考えたものでした。本来、時間は“うまく使いこなす”ことが望ましいのですが、逆に“時間に追われる”ことも少なくなかったことが、26年度の反省点です。

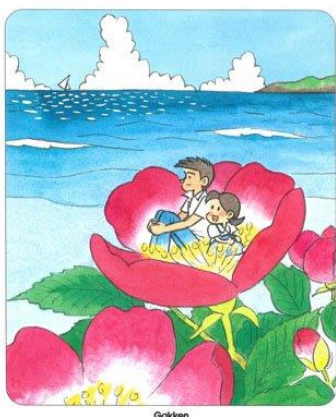
ふっと、いつかのことを振り返ってみませんか。

橋本先生のコミックセラピー

農園療法や音楽療法など様々な活動から癒しの効果が認められるようになりましたが、実はマンガでも証明されるようになって来ました。そんなマンガによる癒しを「コミックセラピー」と言います。

**片思いの切なさに苦しんでいる人に、
何かをきちんと終わらせることになかなか
踏み切れずに悩む人にオススメのマンガ**

叙情まんが 第43集
小さな恋のものがたり
みつはし ちかこ



小さな恋のものがたり

学研パブリッシング

作者:みつはしちかこ

何事も始めるのは簡単だが、きちんと終わらせるのは難しいものだ。どんな波乱万丈のストーリーも幕引きがもたもたしては台無しになってしまう。恋愛も同じ。いつか必ず終わる恋ならば、きちんと決着をつけてキラキラ輝く一生の思い出となる形で終わらせたいものだ。

そんな恋の物語が、最近とうとう最終話を迎えた。君たちの中には読んでいる人はあまりいないと思うが、君たちの親、さらにその親の世代にとっては忘れることのできない恋愛ものがたりがあった。

それが今回紹介する、みつはしちかこ作「小さな恋のものがたり」だ。小さくて可愛いチッチは、のっぽでクールでイケメンなサリーをずっと思い続けているがなかなか進展せず、永遠の片思いのまま時は流れていく。始まりはなんと1962年、そして52年の時を経て、ついにチッチの恋に決着がつく。

この間2人は高校生のままだが、連載開始当時20才だった作者は現在72才、私たち読者もすっかり年をとってしまった。そこで絵が描けるうちに作品にきちんと決着をつけたいということで、最終巻では思い切ってチッチに「さよなら」と言わせることにしたそうだ。

このマンガは私にとっても忘れられない作品となった。連載が始まった頃私は中学2年生で、クラスには私が密かに思いを寄せる女性がいた。思いを伝えられないもどかしさ、それでいて苦しいほどの愛おしさで私の心はぐちゃぐちゃになっていたが、そんな時に救いになったのがこのマンガだった。

「思いを伝えられなくてもそばにその人が居るだけで幸せな気持ちになれるのなら、その瞬間を大事にしよう」というチッチの言葉にどれほど救われたことだろう。そんな気持ちをいつか伝えられる日が来ると信じて6年、偶然再会した彼女に思い切って告白できたのは、このマンガから勇気もらったおかげだ。そうして私は彼女を奥さんにすることができた。

その後、マンガの方は相変わらずチッチの片思いが続くが、この52年間にどれだけ多くの読者に、純粋に思いを貫くことの大切さを、同時にその苦しさを伝えてきたことだろう。そしてこのマンガもついに終止符が打たれる。50年以上育ててきた2人の関係は、たとえ離れ離れになっても決して消えることはない。

このマンガは、時間をかけて「愛」が「情」に育っていく美しさ、そして何かをきちんと終わらせることの潔さを伝えようとしているのだろう。大人だけでなく、ぜひ君たち若い人たちにも読んでもらいたい作品だ。

私は長年連れ添った奥さんを最近亡くしたが、40年以上時間をかけて2人の関係を作り上げ、きちんと送り出したという思いがあるので、不思議と悲しさも寂しさも感じる事があまりない。また、30年にわたって続けてきた本屋さんも間もなく思い切って閉店する。同時に、20年続けてきた「志成館の先生」もひとまず区切りをつけるつもりだ。(非常勤でちよくちよく顔は出すけどね)



そして最後に・・・

このコミックセラピーは
今回が最終回です。

つたないコラムでしたが
最後まで読んでいただき
ありがとうございました。

橋本 博



日	曜	
1	日	
2	月	【卒業生・高2】基礎力講座(～27日) 【高1・2】二者面談
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	【高1・2】終業式・昼食会
7	土	
8	日	
9	月	【高1・2】三者面談
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	【高認】「第Ⅱ期」終了
21	土	(春分の日)
22	日	
23	月	【高1・2】登校日
24	火	【高校】新入生召集日
25	水	【卒業生・高2】進路相談会
26	木	【卒業生・高2】進路相談会
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	【大受】新学期プレ講座
31	火	

高等学院(1・2年生)

■ 6日(金) 終業式・昼食会

朝 10 時より終業式、その後に大掃除と昼食会を行います。熊本校については、教室移動の準備も行いますので、当日までに不要なものを少しずつ持ち帰るか、荷物を入れる袋を持参してください。

昼食会の食事代は、学校で負担します。

■ 2日(月)～ 6日(金) 二者面談

■ 9日(月)～14日(土) 三者面談

まず、本人・クラス担任の二者面談を行います。その内容をもとに、三者面談では今年度のご報告と今後の進路についてお話しします。

詳しくは、2月25日付で送付しました案内プリントをご覧くださいのうえ、希望日時を担当または事務局にお早めにご連絡ください。

■ 23日(月) 登校日

朝 10 時より諸連絡を行います。併せて、熊本校では教室の移動を行います。

大学受験科

2 月以降、一般入試の受験・合格発表が続いています。すでに志望大学に合格し、4 月からの進学先が決まった生徒もいれば、まだ合格を手にならず、不安な気持ちでいる生徒もいます。

早めに合格できた生徒は、気を抜かず、4 月からの新生活の準備をしなければいけませんし、まだ合格できていない生徒は、「入試のチャンスは 3 月下旬までである！」と聞き直って、気を楽にしましょう。気が焦ってしまうと、受かるはずのものも受からなくなってしまいます。

通常授業は終わりましたが、質問があれば、気軽に学校に足を運んでください。泣いても笑っても、あと少しです。一緒に頑張りましょう！

高認受験科

試験は8月、高認試験合格後のことも視野に入れ、十分な対策をする時間が残されています。

焦らず、一步一步着実に、前に進んでいきましょう。まだ十分な時間がありますので、体調を整えてから、焦らずじっくりやっていきましょう。

■写真でふりかえる 平成27年2月のできごと■

2月7日(土) 高等学院 卒業式



熊本市のくまもと県民交流館「パレアホール」にて、志成館高等学院の第12回卒業式を挙行了しました。平成26年度の卒業生46名への卒業証書授与、各賞の受賞、歌の斉唱を行いました。



3年生担任
清田先生から
卒業生へ…

中道久雄学院長は卒業生たちを前に「皆さんは艱難辛苦をはねのけるパワーを持っている。心して歩んで欲しい」と激励し、卒業生を代表して中川祐矢さんが「先生や友達のおかげで成長できた。いつか先生方を越えるような立派な教師になる」と決意を述べました。それぞれが目標に向かって一歩を踏み出しました。
(『RKK熊本放送』ニュースより)

卒業式の挙行に先立ち、2月6日(金)に全ての式次第を通した予行練習を行い、壇上に上がる流れや立ち位置などを確認しました。また、校内で行う3年生のホームルームとしてはこれが最後となりました。

予行練習の後には、熊本校近くの中華料理屋さん『儷郷』(レイキョウ)にて3年生の食事会を行いました。



<校内や授業の様子>



授業「体育」
バドミントン

学校周辺の場所で、全学年合同で運動しています。写真は熊本市の熊本市立体育館にて、バドミントンをしている様子です。



生徒×職員の
将棋の時間

放課後、校内で職員と生徒が将棋などのゲームをする光景を最近よく見るようになりました。生徒だからといって手加減はしません。職員が生徒に将棋を教えてもらっています。いつも負けているのは職員の方です…。



「基礎力講座」が
始まりました。

2月16日(月)から、平成27年度の【大学受験科】授業の受講を希望する生徒を対象に、「基礎力講座」を開講しています。月曜日から金曜日まで、1コマ50分の授業を毎日3コマ実施し、5教科の基礎的な内容を取り扱っています。ひとこと「数学」と言っても数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲとあり、ひとこと「理科」と言っても生物・物理・化学・地学と4種類もあります。受験する大学が同じであっても、学部や学科の違い、さらには入試の種類によって受験に必要な科目が全く異なります。

どの大学に行けばどんな勉強ができるのか、入試にどの科目が必要か、しっかり調べましょう。



先生たちのつぶやき



3年生が卒業してしまい、ぽっかり穴が開いた気持ちが続いています。と、同時に、次は2年生の進路を決めるのに、どうやっていこうかと考えています。比較的、プレゼンテーションが得意な生徒には、AO入試。そうでない場合は、学科試験で勝負をさせますかねえ。小論文を課すところもあるので、文章力も必要ですね。

とにかく、自分の得意分野を活かして、早めに合格して欲しいですね。一緒にがんばりましょう！（清田）



3年生が卒業して、少し寂しい気がしています。自分は生徒がいてこそ、教師なのだと思っていますところ。

先日、昨年度卒業した生徒が遊びに来てくれました。大学生活を苦労しながら楽しくやっているようでした。何年も前の卒業生が遊びに来てくれたりすると、その成長ぶりに驚いたりします。高校時代のその時その時は苦難の連続であっても、時間の流れは人間を確実に前へ運んでくれるように思います。

時間が自分を前に運んでくれることを恐れずに、これからの自分もいろんなことに挑戦していきたいと思います。（中熊）



この3月はいろんな意味で区切りの時となった。昨年出版した『カタルパの樹～合志義塾ものがたり～』というマンガが“熊日出版文化賞”を受賞、人生で初めて「授賞式」という晴れの舞台に立つことに。熊本大学の近くでひそかに続けてきた古本屋も30年の歴史に幕。

そしてこの通信で書いてきたコラム「コミックセラピー」も最終回。志成館も20年目にして新たな勤務体制に入る。「卒業」は英語でいえば「新たな出発」のこと。次のステップに向けてさあ出発だ！（橋本）



久し振りにお花屋さんに行ってきました。まだまだ寒さが厳しく感じる中、お店の中は一足先に春の訪れを感じさせる色鮮やかなお花が沢山あり、見ていだけで気持ちがワクワクしてきました。

店主の方と花について少しおしゃべりをしただけでしたが、とても癒された時間を過ごすことが出来ました。（金丸）



2月7日に「卒業式」を終え、ホッとした気持ちと少し寂しい気持ちが重なり、複雑な心境で過ごしています。そのような中、印象に残っているのが、卒業式の前日に思いがけず昨年度の卒業生がふたり、“3年生に渡してください”と言って、「お菓子」を持ってお祝いに来てくれたことです。3年生にとって、素敵なサプライズになったのではないのでしょうか。

また、今年の「卒業式」には一昨年度の卒業生が来賓として出席し、お祝いの言葉を述べてくれました。こんなに後輩思いの卒業生がいてくれて、本当にうれしく思いました。（高橋）



約5年の高校職員生活の中で、職員としての卒業式出席は2月7日実施分で4回目でした。数年前から見ていた生徒が卒業式で胸を張る姿を見たり、また、卒業後にいろいろな場面で活躍する卒業生の姿を見たりすると、学校職員としてやはりとても嬉しく感じます。

夕方学校へふらっと来た卒業生を見ることもあれば、街なかでばったり会うこともあります。最近であれば、平成26年4月に大学へ入学した卒業生を熊本駅前のバス停で見かけ、「先生、おひさしぶりです！」と、当時と変わらない雰囲気です。

最近はインターネットなどの普及で、ふっとニュースを見ると見覚えのある卒業生の名前を思いがけず見ることもあります。志成館を卒業した後の皆さんがどのように成長し、どんな大人に育っていくかとても楽しみです。

そして、毎日の生活を楽しみましょう！（山口）

■外部イベントのお知らせ■

高校生のための進路の総合イベント 「ミラ☆ツク フェスティバル2015」 ミライ(未来)をツクル(創る)フェスティバル

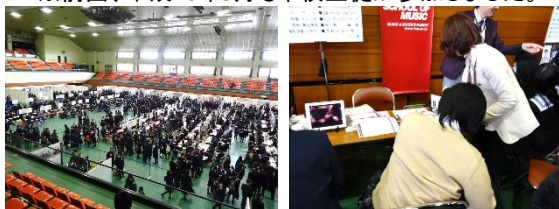
「将来やりたいことの選択肢が広がった」
「体験できたのが良かった」「もっと頑張ろうと思った」など
高校生自身が進路に対して本気になる、
それが「ミラ☆ツク フェスティバル」です。

このイベントは、高校生自身が
「将来やりたいことを考え発見する」
「教養を身に付ける大切さ」など自ら目的をもって考え、
適正な真を選択ができるよう企画されています。

平成26年に引き続き、大学・専門学校の個別相談、大学の模擬講義、お仕事体験や就職に関する相談ができる貴重な機会です。大学・専門学校の各種資料配布も行われます。普段なかなか相談できないことや、身近な内容から将来設計に至るまで何でも相談してみましょう。

- ◆日時：3月17日(火) 12:30～17:30
※参加申込不要、入退場自由です。
- ◆会場：熊本市総合体育館(市電「市立体育館前」下車)
- ◆お問合せ：株式会社 日本ドリコム 福岡支社
進学ガイダンス係 TEL 092-474-2138

※前回、平成26年3月も本校生徒が参加しました。



健康でいこうコラム 中熊和典

「勉強できるカラダ」を作る。

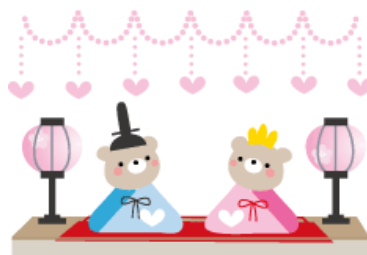
平成27年度【大学受験科】授業の受講を希望する生徒を対象に、「基礎力講座」が始まりました。来年度の受験に向けて、まず受験勉強に耐えることが出来る体が必要になります。

たとえば、無理な体勢で勉強をしていると、当然カラダはきつくなります。これは、やる気のある・なしとは別の問題です。カラダがきつくなると勉強の集中力は落ちます。無理な姿勢で勉強するだけで、確実に能率が下がってしまうものなのです。

「やる気があれば何でも何時間でも勉強出来る」というのは、妄信にすぎません。実際には、何時間でも勉強できるカラダあって、はじめて長時間の勉強ができます。そのため、適度な運動は必要です。

今年度、「体育」の授業で整体講座を行いました。参加した生徒は、まっすぐ座るとはどういう状況なのかを体感できました。体がまっすぐになるよう座ると、楽に長時間座ることが出来るようになります。

「カラダがきつい」と「勉強したくない」のは混同しやすく、自分でも周りからでも、区別がつきにくいものです。これからは勉強と同時に、勉強に耐えうる体も作っていききたいと思います。



※『SHISEIKAN!』通信の挿絵は、『イラストわんパグ』(<http://www.wanpug.com/>)のフリー素材を使用しています。



日本航空高校【熊本キャンパス】
志成館高等学院
志成館【高認受験科】
志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)
TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <http://www.siseikan.net>

ご意見・ご感想をお聞かせください。

メール: sg1008@siseikan.net